

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

ふれあいねっと

社協だより第33号

こうして みんなと一緒にの時間が何よりだね!



もくじ

- ・平成27年度 社会福祉協議会の事業計画 (P.2)
- ・平成27年度 社会福祉協議会資金収支予算 (P.3)
- ・地域包括支援センターだより (P.4)
- ・くらし安心サポートセンターだより (P.5)
- ・社協生活復興支援センターだより (P.6)
- ・ボランティア市民活動センターだより ほか (P.8)

※日帰り温泉バスツアーで足湯に浸るみなさん
＝関連記事はP.6に掲載

〒981-0504 宮城県東松島市小松字上浮足252-3(老人福祉センター内)

総務課

介護保険事業所 (居宅介護直通)
(訪問介護直通)

社協生活復興支援センター

地域福祉課・ボランティア市民活動センター

地域包括支援センター

くらし安心サポートセンター

TEL 83-2851 FAX 83-4561

TEL 25-4312 FAX 25-4336

TEL 83-2904 FAX 25-4336

TEL 83-5001 FAX 82-9813

TEL 83-2717 FAX 82-9813

TEL 83-1966 FAX 90-3227

TEL 98-6925 FAX 98-6926

社会福祉協議会の事業計画

I. 基本方針 ～ともに支え合う自立に向けて～

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年の歳月が経過し、今年度は災害公営住宅への移転や集団移転地での住宅再建が本格化するなど、被災者を取り巻く環境は大きな転換点を迎えます。

本会では、昨年度から本会初の地域福祉活動計画を東松島市の地域福祉計画と一体的に策定し、今年度はその実践の年となります。この計画の実践を通じて、いまだ不自由な仮設生活を送る多くの被災者の孤立防止策を強化し、また、仮設住宅からの移転者の増加により仮設自治会機能が低下するおそれがあることから、仮設自治会支援事業を新たに実施するとともに、本格復興期において福祉コミュニティの再生を実現するため、被災者支援で培った経験を活かしながら、社協本来の役割である地域福祉の推進を図ります。これにより平成24年10月に全国社会福祉協議会が策定した「社協・生活支援活動強化方針」の実現に努めます。

昨年度、モデル事業として実施した生活困窮者自立促進支援事業については、モデル事業の経験を踏まえ、組織力の強化を図るとともに、新たに家計相談支援事業を実施し、生活困窮者の自立支援策の拡充を図ります。また、地域福祉活動計画に基づき被災者サポートセンターに配置されるコミュニティソーシャルワーカー等と連携し、被災者の生活課題の実態把握に努めます。

地域包括支援センター事業については、今年度からの介護保険法の改正を受け、東松島市が進める地域包括ケアシステムの構築への参画や、リハビリ職との連携等による介護予防事業の強化、認知症サポーター養成講座の拡大や認知症専門相談会の開催等の認知症対策事業の強化を進めます。

法人運営については、事業運営の信頼性を高めるため、業務の有効性及び効率性、財務報告の信頼性、事業活動に関わる法令等の遵守等を推進するため、組織マネジメントの強化に取り組みます。

II. 重点事業

1. 地域福祉活動計画の推進
2. 被災者の孤立防止策の強化
3. 生活困窮者自立促進支援事業の拡充
4. 介護予防事業と認知症対策事業の強化
5. 組織マネジメントの強化



地区センター等で開く介護予防事業

III. 事業の主な内容

1. 法人運営事業

- (1) 理事会の開催
- (2) 評議員会の開催
- (3) 監査会の開催
- (4) 委員会の開催
- (5) 支部長会議の開催
- (6) 組織マネジメントの強化
- (7) 地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施
- (8) 賛助・特別会員の加入促進
- (9) 情報発信の推進
- (10) 東松島市老人福祉センターの指定管理
- (11) 他社協、社福法人との連携強化
- (12) 社会福祉大会の開催

2. 地域福祉事業

- (1) アウトリーチ型小地域福祉活動支援の推進
- (2) 高齢者等の交流機会の促進
- (3) ① ふれあいのつどい ② いったりかつたりサロン
- (4) 市内福祉事業者等のネットワーク化の推進
- (5) 特別支援学級への学用品等支給事業の実施
- (6) ※ノーマライゼーション普及事業の実施
- (7) ボランティア・市民活動センター機能の充実
- (8) 福祉のまちづくり支援事業の実施
- (9) 総合的学習支援事業の実施
- (10) 東松島市民生委員児童委員協議会(事務事業の一部)の支援
- (11) 各種福祉関係団体の事務支援
- (12) 自治協議会(福祉部会)や市民センターとの情報共有と連携事業の推進

3. 生活支援事業

- (1) 生活困窮者自立促進支援事業の実施(東松島市からの受託)
- (2) ① 自立相談支援事業 ② 家計相談支援事業
- (3) 生活安定資金貸付事業の実施
- (4) 一時保護資金貸付事業の実施
- (5) 生活福祉資金貸付事業の実施(宮城県社会福祉協議会からの受託)
- (6) 生活用品等支援事業(緊急を要する援護者への物品給付)の実施
- (7) 火災見舞金支給事業の実施
- (8) 日常生活自立支援事業(まもりーぶ)の実施(宮城県社会福祉協議会からの受託)
- (9) 外出支援移送サービスの実施(東松島市からの受託)

4. 福祉サービス事業

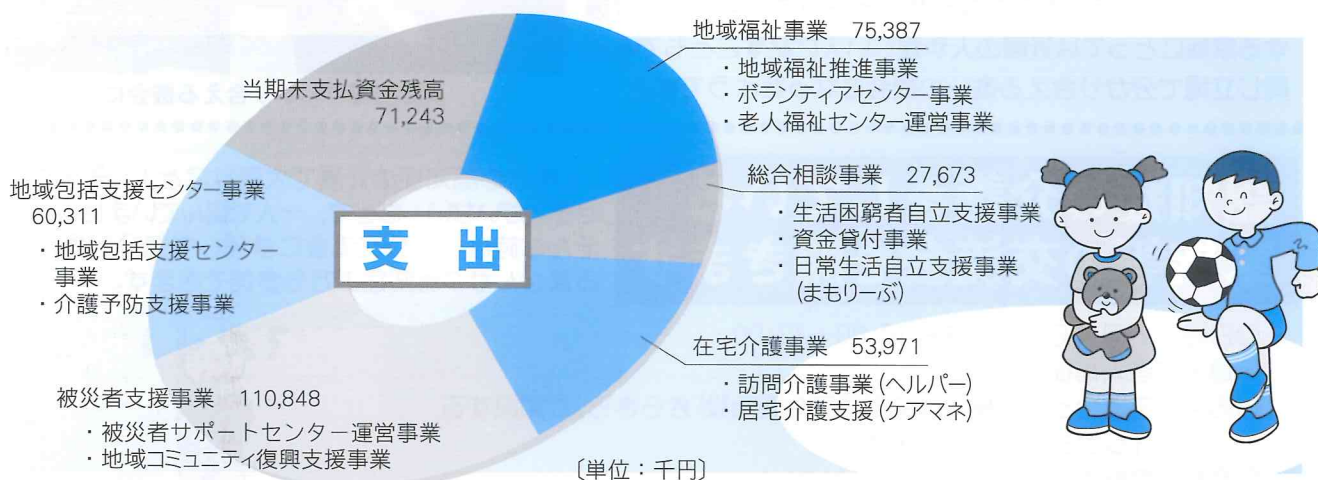
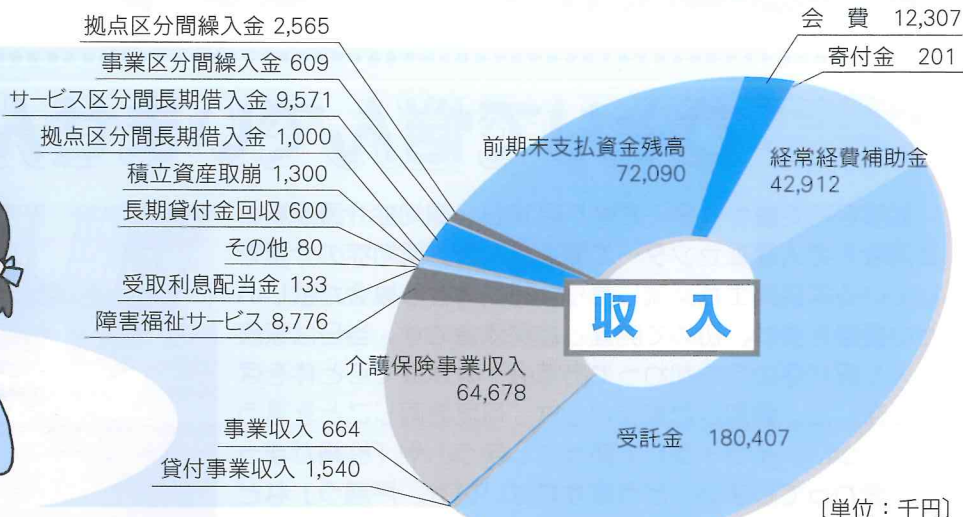
- (1) 居宅介護支援事業の実施
- (2) 訪問介護事業の実施
- (3) 地域の在宅介護力の向上支援

※ノーマライゼーションとは

障がい者や高齢者がほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現を目指す考え方。

平成27年度がスタートしました!

資金収支予算 (社会福祉事業・公益事業)



- ### 5. 生活復興支援事業
- 被災者サポートセンター運営事業(東松島市からの受託)
 - 寄り添い型被災者生活支援の実施
 - 地域交流サロンの運営支援(お茶会・おひさまサロンなど)
 - 専門性の向上による被災者相談支援機能強化
 - 子ども支援プロジェクトの実施
 - (居場所づくり、復興まちづくり支援、福祉教育など)
 - (ア) かぜの子しんぶん
 - (イ) 高校生の役割創出事業
 - 被災者支援活動の伝承
 - 地域コミュニティ復興支援事業の推進(東松島市からの受託)
 - 地域コミュニティ復興支援事業
- ### 6. 地域包括支援センター事業(東松島市からの受託)
- 介護予防事業
 - 二次予防対象者把握事業
 - 介護予防運動教室
 - 生活不活発病予防事業
 - 包括的支援事業
 - 介護予防ケアマネジメント業務
 - 総合相談支援業務
 - 権利擁護業務
 - 実態把握業務
 - 包括的・継続的ケアマネジメント業務
 - 指定介護予防支援
 - 任意事業
 - 認知症対策事業
 - (ア) 認知症サポーター養成講座の拡大とキャラバン・メイトの質の向上
 - (イ) 認知症専門相談会の開催
 - (ウ) 高齢者SOSネットワーク事業のアピール
 - (エ) 認知症家族会の立ち上げ
 - (オ) 地域資源の把握(お茶会マップの作成)
 - 高齢者見守り事業
 - 福祉用具購入相談業務
 - サービス利用申請手続代行業務
 - 地域介護予防活動支援事業
 - 地域介護予防活動支援事業



お茶会等地域交流サロンの運営支援も

地域包括支援センターだより

ひとりで悩んでいませんか？

地域包括支援センターでは5月16日、認知症介護家族の交流会を老人福祉センターで開きました。認知症の介護をしている家族同士が交流したり、相談できる機会が欲しいとの要望を受け、初めて開催した交流会です。当日は家族7人と認知症の方も加わってお茶会や軽体操で心と体をほぐしました。参加した家族からは「何度も同じことを言うので、つい、イライラして怒ってしまう」や「性格がまったく変わってしまい、どう接すればいいか、戸惑う」などの声が出ました。それぞれが語り合う中で、「接し方の方法を学んだ」「非常に参考になった」と語っていました。介護する家族にとっては近隣の人や親しい人に話すこともできず、同じ立場で分かり合える唯一の機会になったようです。



同じ立場でわかり合える機会に

認知症の介護をしている 家族等の交流会を開きます

- 日時／7月15日(水)、午前10:00～12:00
- 場所／老人福祉センター
- 内容／交流会と小規模多機能型居宅介護施設「きらきら」が開設するオレンジカフェの見学会
- 会費は無料です。

問い合わせ・申し込み＝地域包括支援センター TEL 83-1966へ

「毎日の認知症の介護で大変なこと」「身近で話せる人がいない」などで、一人で悩んでいませんか？ そんな時は、ぜひ交流会に参加して気分転換してみませんか？認知症の方も参加できます。



認知症の方を地域で支えるには

「認知症サポーター養成講座」が5月14日、前里地区センターで地区住民15人が参加して開かれ、5月21日には矢本東市民センターで住民17人が参加しました。両会場では「身内が認知症になったら、どう接したらいいのか」「早期発見は」「予防はどうしたら…」「地域でどのように支え合っていけばいいのか」など自分自身の身近な問題として質問が出され、関心をもって受講していました。介護の経験がある女性は



矢本東地区センター



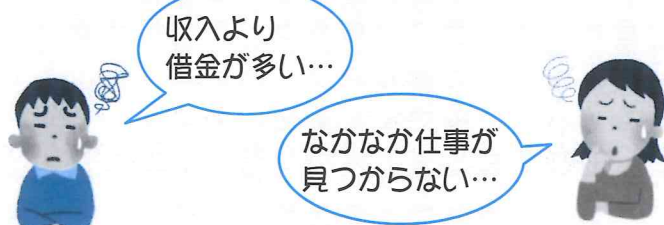
前里地区センター

「このような講座を知っていたら、もっと楽に対処できたのに…」と話していました。なお、地域包括支援センターでは、会社や事業所などの職員研修や地域住民の集まり、子供会や小、中学校の福祉教育など、どんな場所でも開催します。参加人数も問いませんので、気軽に申し込み下さい。

東松島市くらし安心サポートセンターだより

東松島市委託事業／生活困窮者自立促進支援事業(自立相談支援・家計相談支援)

こんな時は **ご相談** ください



どこに相談すれば...



相談できる方

生活保護を受給している方以外で、生活に困っていて、最低限の生活を維持することができなくなる恐れのある方はだれでも年齢制限無く相談できます。



くらし安心サポートセンター TEL98-6925

当センターの相談の流れ

当センターに相談(来所、電話、訪問)

- ・来所、電話、自宅訪問など、様々な方法での相談に対応します。
- ・お気軽にご相談ください。

センター利用の申し込み

- ・センターの役割や個人情報の取り扱いなどについて説明し、センター利用の申し込み。
- ※本人同意の上、ご相談内容について関係機関と情報共有する場合があります。

支援方法の検討とプラン作成

- ・ご本人の生活状況やご希望をお聞きしながら、困りごとの解決に向けた支援方法を検討します。
- ・ご本人とともに解決のためのプランを作成します。

関係する支援機関との連携・紹介・同行

- ・市の関係機関やハローワーク、その他支援機関と連携し、制度の枠組みを超えて困りごとの解決を目指します。
- ・必要に応じて、各機関に同行します。

困りごとの解決(必要に応じてフォロー)

- ・困りごとが解決した後、生活が軌道に乗るまでの間、継続的にフォローします。

★今年度も高校生交流活動 栃木県日光市と

ココカラハジマルプロジェクト

東松島市と栃木県日光市の高校生が取り組んでいる地域活動「ココカラハジマルプロジェクト」の今年度第1回目となる活動が5月30日、31日の2日間にわたり矢本運動公園仮設住宅内で行われました。今回行った高校生カフェのメニューは、パンケーキ、飲み物、プレスレット作りなど。企画、準備、当日の実施まで高校生が主体的に行っています。当日は100名以上の参加がありパンケーキは完食。プレスレット作りもカフェが始まってから終わるまでずっと作り続けている人もいたほど好評でした。



入念にPRの看板づくりを



熱心にプレスレットづくり



ドリンクサービス

社協生活復興支援センターだより

「3.11からの歩み」現在の活動



日帰り温泉バスツアー好評!



テーブルいっぱいの料理

応急仮設住宅で暮らす高齢者を対象にした日帰り温泉バスツアーが5月19、20、21日、岩手県一関市の温泉施設「山桜・桃の湯」で行われ、149人が参加しました。

応急仮設住宅での生活も間もなく4年になって、徐々に空き室が目立ってきました。ともに生活する仲間同士で、たまにのんびりと温泉に浸りながら語り合い、おいしい料理を食べて、観劇を楽しんでもらおうと、社協が企画しました。大浴場には露天風呂やヒノキ風呂、岩風呂などがあり、筋肉痛や関節痛などに効果があるそうで、「いい湯だったね。さっぱりした」との声も。劇場では劇団「三峰組」のユーモアあふれる芝居に大笑いでした。帰りには厳美溪に立ち寄り、名物の団子をみやげに買い求める人もいました。

三間堀仮設住宅から参加した菊地よしのさん(90)は「楽しみにしていた。料理も足湯もよかったし、みんなと一緒にいるのが何よりだね」と笑顔を見せていました。

和やかにミリオンベルを鉢植え グリーンタウンで共同作業に汗!

グリーンタウン1の応急仮設住宅で5月25日、おひさまサロン・フラワーポット植栽事業が行われ、住民約40人が黄色や紫ピンクの小花を付けたミリオンベルを鉢植えし、各世帯に配りました。

男性陣が用意した100個の鉢に培養土を入れ、女性陣はそれをポットから鉢に植え替える共同作業です。4回目になる今回は9時半の作業開始でしたが、待ちくたびれた住民らは30分も前から作業を開始する手際の良さ。住民らは「かわいい花だね」と「これは長持ちするね」などと語りながらスムーズに作業が進みました。

終了後は、住民同士でしばし和やかに語り合う光景も見られ、ある女性は「花が大好き。心が休まっていいね」と大事そうに持ち帰っていました。

27日は鷹来の森応急仮設住宅で、31日はグリーンタウン2の応急仮設住宅でも同じように行われました。



和やかに語り合う光景も

お年寄りの心を推測

真壁病院でキャップハンデ教室開く

お年寄りの身になって日常生活の一端を体験するキャップハンデ教室(高齢者疑似体験)が4月2日、真壁病院で行われました。老老介護の現状を身を持って体験し、理解する目的で同病院が企画し、東松島市社協から講師を派遣しました。新採用の看護師や介護士など17人が参加して、まず、耳栓をして視野の狭い特殊なゴーグルをつけ、手は空気が入ったフガフガの手袋を着用、さらに重さ2kgのチョッキ、ヒザは曲がりにくく固定して身体が不自由な高齢者になり切った疑似体験です。10分ほど歩いた後、階段を昇り降り、さらに車イスを押し、簡単な書類に住所や氏名などを書き込む約10分間の体験で、体験者と介助者、観察者の3人1組が交替で行いました。「つわーっ、怖い!」「見えにくい。歩きにくい」と言いながら、汗びっしょりの人もいました。「まったく違う体験で、お年寄りの不自由さが分かりました」と率直な感想を語っていました。同病院では「患者や利用者に高齢者が多く、その人たちの身になって接する良い体験です。意思疎通を図るなど今後に生かしたい」と期待していました。



不自由さがわかりました

地域福祉活動計画

東松島市と社会福祉法人東松島市社会福祉協議会は、地域の生活課題と社会資源の状況を共有し、地域の課題解決を図ることができるよう、今年4月に『東松島市地域福祉推進計画』を協働で策定いたしました。

基本理念

誰もが安心して笑顔で暮らせる

「ささえあい」のまちづくり

地域福祉課題を踏まえ、東日本大震災を契機に力強く芽生えた地域の支え合い、助け合いの力を育み、より強くすることにより、さまざまな要因により支援を必要とする人の暮らしにくさや生きづらさを軽減・解消できるような活動を実践します。性別・年齢、病気や障がいの有無、所得や社会的地位等にかかわらず、すべての住民が地域の中で個人として尊重され、安心して笑顔で暮らせる「ささえあい」のまちづくりをめざします。

基本目標

基本理念を具体化するため4つの基本目標を定め具体的な施策を展開します。

基本目標1 「顔の見える」関係をつくり、地域福祉活動の担い手を増やす

基本目標2 助け合いのできる地域をつくる

基本目標3 社会的孤立を防ぐ支援の仕組みをつくる

基本目標4 地域福祉を推進するための基盤整備を進める

～あなたの思いや活動がみんなの「地域福祉」をつくります～

普段のくらしの中で、
近所の人と交わす
あいさつから
地域福祉は始まります。
「顔の見える関係」を
つくりましょう。

地域では、
普段の暮らしを豊かに
するための行事やイベント、
話し合いが行われています。
あなたの力を
必要としています。
地域の活動に参加
してみましょう。

「最近、隣のおばあさんの
姿を見かけないな…」など、
日頃から隣近所の人の様子を
気にかけていれば
もしもの事故や事件の
早期発見につながります。

ご高齢の方や
子育て中の方などへの
ちょっとした声かけが
相手の安心につながります。
あなたの存在が
ちからになります。

日常的なゴミ出しや
買い物などが難しい方が
いるかもしれません。
何気ない気遣いや手伝いが
地域での普段の暮らしの
幸せを支えます。

ボランティア・市民活動 センターだより

♥ 収集ボランティアさん「ご協力ありがとうございました」♥

ブルタブ

エコキャップ

使用済み切手

(敬称略)

鈴木米子・高橋正勝・鳴瀬桜華小学校・矢本東小学校・柴田秋子・菅原由紀子・赤十字奉仕団東松島市さくら会
松本己知子・五ノ井ヤス子・阿部政彦・棚橋謙吉・野村よしえ・南新町白寿会・須田智子・高橋信也・及川征司
本間智嘉子・土井・田村心優・大江貞徳・佐藤一雄・高橋亮太・木村禮子・佐々木正子・本田夕稀・本田未来
ひまわりコミュニティ会長奥田芳幸・高橋より子・鈴屋サダ・高橋孝一・下山祐汰・佐藤えりな・佐藤あずさ
伊藤真美・大越清子・山下邦子・高橋イチ子・日本生命保険相互会社矢本営業部・佐藤浩恵・佐々木義久
木原孝子・辺見良子・中原雅斗・櫻井たか子・ゆり美容室・今野広行・横山章・加藤一枝・土井よしえ・千葉伸芳
まるたま石巻店・小関早富美・高橋幸子・山田三喜恵・三澤佳枝・佐々木奏風・(株)ミツワ紙工所
鳴瀬未来中学校・(株)矢本タクシー・矢本第二中学校・青戸力彌・児玉真依・山内ひとみ・高橋忠子・さくらんぼ会
中原富士子・菊地洋子・本田せい子・石川株式会社東京支店矢本工場・高野悦子
おだずもっこ大学山楽耕炭々倶楽部・小林富寿男・小松台ガッツ会・丹野隆子・川元とき江・桜井梓・佐藤美枝子
相澤烈夏・野蒜市民センター・三浦慶子・村上愛子・制野太喜子・斎藤貞子

※ブルタブ、エコキャップの収集活動は終了しました。

information いんふおめーしょん information

あたたかい善意
あいがとうございました

「福祉に役立てて下さい。」と、ご寄付を頂いておりますのでご紹介いたします。心温まるご協力に対し、紙上より御礼申し上げます。
(平成27年4月1日～平成27年5月31日受付分まで)(敬称略)

《社協法人本部への寄付》

渡辺 勝 10,000円
佐藤 功 50,000円
戸大建設工業株式会社(神奈川県) 50,000円

《物品の寄贈》

矢本婦人会 タオル300枚

《東日本大震災対応寄付金》

社協生活復興支援センター活動経費等に使用させていただきます。
(平成27年3月1日～平成27年5月31日受付分まで)(敬称略)

北陸学院高等学校生徒会 119,160円
聖福寺 峠泰心 老師(奈良県) 90,000円

《御奉仕》(敬称略)

佐々木造園

※ボランティアで老人福祉センター敷地内の庭木剪定をしていた
できました。

ネパール募金の報告

先日発生した地震により、甚大な被害を受けたネパールへの募金に、多くの方からご協力いただきました。

東松島市社会福祉協議会が設置した募金箱や窓口にお寄せいただいた募金は、総額で40,856円でした。この募金は、日本赤十字社を通じて、ネパールでの救援・復興事業へ役立てられます。

平成27年度東松島市社協会員加入のお願い

社会福祉協議会の活動に必要な財源は、皆様からの会費と寄付金、社協介護保険事業の収益金の一部、赤い羽根共同募金の配分金などで構成されています。当社協で行っている「被災者支援事業」、住民自ら行っている「福祉のまちづくり」の取り組みの、なお一層の充実を図るため、社協の活動趣旨にご賛同いただき、一般会員の募集をするものです。また、併せて特別会員・賛助会員についても募集いたします。

一般会員 年間10 1,200円
賛助会員 年間10 3,000円
特別会員 年間10 5,000円

宮城県共同募金会

「安全生活支援事業」配分先決定!!

配分先(敬称略)	配分金事業名	配分先(敬称略)	配分金事業名
塩入自治会	テント購入	大塚地区センター	テント購入
小松台区自主防災会	テント購入	大島自治会	テント購入
貝殻塚一行政区	テント購入	南新二行政区	テント購入
若葉区	テント購入	下区自治会	発電機(G2800)
横沼二区	テント購入	南一自主防災組織	テント購入
五味倉自主防災会	投光器付発電機	小野上区自主防災会	テント購入(3張)
南新一行政区	テント購入		

平成27年度宮城県共同募金会「安全生活支援事業」などによる東松島市の助成先が決まりました。この事業は、昨年度、県内の皆様からお寄せいただきました「赤い羽根共同募金」により、自治会等が取り組む安心・安全なまちづくり事業や福祉施設設備充実を図るための支援として配分されたものです。東松島市では、25団体からの申請がありましたが、審査の結果、次の13団体に決定しました。